

NSX(NA1/2型)専用 リアビューカメラ取り付けステー 取付説明書

- この度はサウンドプロオリジナル「NSX(NA1/2型)専用リアビューカメラ取り付けステー」をお求めいただき有難うございます。
- 当製品を安全に取り付け・ご使用いただくために、当書の記載事項をよくお読みください。
- 取り付け後は必要時に参照できるよう、必ず保管してください。

内容物一覧



適合カメラ情報 (カメラは別途ご購入ください)

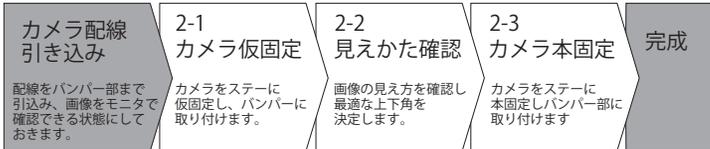
取付可能最大サイズ	取付可能主要メーカーサイズ
幅 24mm	ALPINE HCE-C1000 23.6×23.6×24.0
高さ 24mm	carrozzeria ND-BC8 23.8×23.8×25.5
奥行 27mm	Clarion RC15C 23.4×23.4×23.5
	KENWOOD CMOS-230 23.4×23.4×23.9
	Panasonic CY-RC100KD 23.0×23.0×23.0

事前にご確認ください

1 作業開始前の確認事項

- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と異なって見える場合があります。
- 着手前に本書をよく読み、一連の作業を理解してから着手してください。次ページの1-1と1-2の事項もお読みいただき、十分に安全にご留意頂いた上で着手してください。不安がある場合は専門店にご依頼ください。
- ステー取り付け自体は比較的短時間で完了しますが、カメラケーブル引き込み等を関連作業を含めると、相応の時間がかかります。屋外で作業する場合は、明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- カメラのサイズによっては組み込めない場合があります。事前にカメラのサイズをご確認ください。
- 本製品の仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

2 取付作業のながれ

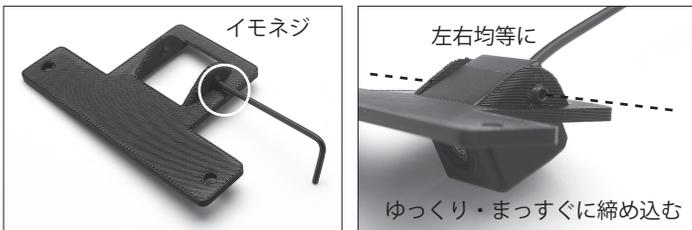


カメラ・ナビの説明書を参照してください。 ↓以下の説明に従って作業してください。

2-1 カメラ仮固定

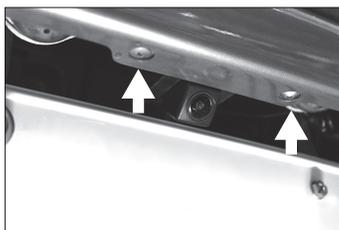
①カメラをステーに取り付ける

カメラをステーの開口部にあてがって、付属のイモネジで固定します。付属の六角レンチを使い、左右均等に締め込んでください。ネジ穴は本固定の際にしっかりと締まるように、キツめにしています。力を入れすぎて締め過ぎたり、斜めに入れたりしてネジ穴を破損しないように注意してください。本締めは後ほど行いますので、この段階では軽めに締めておいてください。



②ステーをバンパー部へ取り付ける

ステーのバンパー部への固定は、ナンバー灯を留めているネジを使って行います。2本のネジを抜き取り、バンパーとナンバー灯の間にすき間をつくってから、ステーのT字部分を挟み込み、ネジを通して締めます。



1-1 安全に作業・ご使用いただくためにお守りください

- 本製品の取り付けには、関連する部分の自動車の構造に関する知識が必要です。また関連作業を含めると、電気配線の知識・技術・工具類も必要になります。不安・不足がある場合は無理をせず、専門店にご依頼ください。
- 取り付け・ご使用前に、この取付明書をよくお読みいただき、正しく作業してください。説明書の指示をお守りいただかなかった事により生じた不具合、並びに損失に対して、当店は一切の責任を負えません。
- 当初お読みになった後も、必要時に参照できるよう保存してください。

1-2 配線・取付・取扱・ご使用上に関する警告・注意 (関連作業を含む)

- 説明書に従って、正しく接続してください。車両火災・事故の原因になることがあります。
- 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外してください。感電・ケガの原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。
- 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴグル等を使用して目に切り子や破片が入らないように保護してください。ケガの原因になります。
- アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。
- コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。
- 走行前にカメラステーの取付状態に異常がないか点検してください。事故の原因になります。
- カメラの取付け作業を行うとき、カメラの取付け状態を点検するときは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。事故の原因になります。
- 付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。
- コード類の配線は高温部・可動部を避けて行い、しっかりと固定してください。高温部に接触してコードの被覆がとけたり、可動部品による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。
- カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。
- カメラ向きのスレ、ステー破損の原因になりますので、ステーに無理な力を加えないでください。
- カメラ破損の原因になりますので、飛び石等にはご注意ください。
- 自動洗車機や高圧洗車時はご注意ください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む恐れがあります。
- 定期的な取付状態を確認してください。ねじのゆるみや、カメラのグラつきを確認してください。コードを車内へ引き込んである箇所の防水ゴムがゴムパッキンに平行にあたっていることを確認してください。

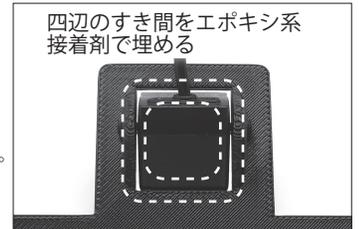
2-2 見えかた確認

運転席に戻り、モニターを見て画像の見え方(上下の角度)を確認します。状況に応じて角度を調整し、ちょうどよいところが決まったら、ステーとカメラの位置関係が変わらないようにマスキングテープなどで固定します。

2-3 カメラ本固定

①カメラをステーに本固定する

2-1②仮固定の逆の手順で、ステーをバンパーから外し、イモネジを締め込みます。よりしっかりと固定するために、四辺のすき間にエポキシ系接着剤を充填します。(推奨)



②ステーをバンパー部に本固定する

2-1②仮固定と同じ手順で、ステーをバンパー部に取り付けます。走行中にカメラの配線が損傷しないよう、十分に固定・保護を行ってください。

製造・販売元

オーディオファクトリー・サウンドプロ
〒116-0012 東京都荒川区東尾久 2-38-14
TEL : 03-5913-8450 / FAX : 03-5913-8460
<https://www.soundpro.jp> info@soundpro.jp